

『山を活かす！山を守る 山に暮らす交流会』報告

10月13日(土)、長浜市余呉町のウッディパル余呉において滋賀県主催の『2018 山を活かす！山を守る 山に暮らす交流会』がありました。和太鼓や地元中学生の吹奏楽、川本勇氏のバンドのステージ発表、チェーンソーアート、ベンチづくり競技会、ファザーフォレストを考えるシンポジウムなど盛りだくさんの内容でした。

滋賀森林インストラクター会では、インストラクター会の活動の様子や、今年の研修テーマである危険生物の展示、押し葉のパウチシートづくりやタラヨウの葉の名札づくり体験、遊具「ドングリころころ」のコーナー、きのこ汁の販売を行いました。

押し葉のパウチシートづくりには、親子連れが多く来られ、それぞれお気に入りの葉を選んで、動物や顔を作っておられました。透明なシートなので葉脈が観察しやすく、特に日に透けたタカノツメの葉の美しさに感嘆の声が上がっていました。

タラヨウの葉の名札づくりでは、木の棒で描いた線がだんだんはっきりと浮き上がる様子に驚いておられました。できあがった名札を首に掛けて笑顔で写真を撮っておられました。

「ドングリころころ」コーナーは今年も大人気でした。特に小さなお子さんは、どれだけ遊んでも遊び足りない様子でした。大きくて丸いドングリや自分が働きかけて動くものもつ魅力を改めて感じました。

きのこ汁は会員有志の方々が、大量の材料をあらかじめ切ってくださいっており、用意がスムーズにできました。お世話になりありがとうございました。大鍋で煮込まれた豚肉入りきのこ汁には、たくさんのお客様が来られ、12時半には完売となりました。野外でいただく温かい食べ物の味は格別だったことでしょう。

インストラクター会の研修会の写真をご覧になり、説明を聞いて熱心に質問をされ



る方もおられ、森の生態系の不思議や当会の活動に興味を持ってくださったようでした。実際に現地で研修をし、自分の言葉で語る的確な説明には説得力があります。私事ですが、今後も研修を積み、森林インストラクターとしての資質や能力の向上に努めていきたいと強く思いながら、帰途につきました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。



(野村祐美子)